

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成22年11月11日 (2010.11.11)

【公開番号】特開2010-167291(P2010-167291A)  
 【公開日】平成22年8月5日 (2010.8.5)  
 【年通号数】公開・登録公報2010-031  
 【出願番号】特願2010-85897(P2010-85897)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月27日 (2010.9.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技機前面側に開放された筐体と、遊技に関する各種制御を行う制御基板を基板ボックスに収容してなる制御手段とを備えた遊技機において、  
前記筐体内部の背面部に固定された第 1 部材と、  
前記制御手段が装着され、かつ前記第 1 部材に対して前記筐体の開放側に向って回動可能に取り付けられた第 2 部材と、  
前記基板ボックスを開放する場合にその痕跡が残るように封印状態とする封印手段と、  
遊技機の管理に利用される固有情報等を有し、前記基板ボックスに貼付されるシール片と  
を備え、  
前記封印手段は、前記基板ボックスの回動先端側に配設され、  
前記シール片は、前記基板ボックスの回動先端側に貼付されていることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記封印手段は、前記基板ボックスにおける回動先端側の側部に設けられていることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記遊技機前面側が開放された状態において、前記第 1 部材に対して前記第 2 部材及び前記制御手段を前記筐体の開放側に向って回動変位させた場合に、前記回動先端側の側部を通じて前記遊技機前面側から少なくとも前記制御基板が視認可能となることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

スロットマシン等の遊技機では、遊技に関する各種制御を行うための制御手段が設けられており、この制御手段により、遊技回の都度変動表示される図柄の制御や大当たり抽選

等が行われる。制御手段を構成する制御基板上には、各種処理を実行するマイクロコンピュータや遊技内容に関する制御情報が記憶されたメモリ（ＲＯＭ）等が実装されている。そして、前記制御基板が基板ボックス内に収容されることで制御手段が構成されるようになっている。一般にスロットマシンのように遊技機本体としての筐体を有する構成にあっては、例えば筐体の背板に対面させるようにして制御手段を配しており、これにより前記制御手段への不正が困難となる等の効果が得られる。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００３】

また、上記の構成としたスロットマシンでは不正な利益を得ることを目的として、制御基板手段を不正に取り外して当該装置内のＲＯＭを交換し遊技内容を変更したり、ジャンパー線等により外部から不正な電気信号を制御基板に入力させたりする等、制御手段に対しての不正行為が数多く報告されており、従来より各種の不正対策が検討されている。例えば、基板ボックスを透明ケース体にて構成して制御基板の状態を外部から容易に視認できるようにする、基板ボックスに封印構造を持たせて基板ボックスの開封時には破壊等による開封履歴を残すようにする、又は、基板ボックスを構成する上下一対のケース体の接合部に再貼付不可能な封印シールを貼付する等の不正対策が採用されている（例えば特許文献１参照）。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

さらに、正規の制御手段を別の制御手段に載せかえるといった不正行為が行われている。この不正行為に対して、例えば各遊技機の固有情報等を付したシール等を基板ボックスに貼付し、このシール等をホール管理者等が確認することで各遊技機が正規品か否かを調べる管理手法がある。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

しかしながら、上記の通り筐体の背板に対面させるようにして制御手段を配置した遊技機では、ホール管理者等が制御手段に貼付されたシール片の固有情報等を確認する際、その確認が困難であるという不都合が生じ得る。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

本発明は、制御手段に対する不正等の確認を容易とし、ひいては当該制御手段を適正に管理することができる遊技機を提供することを目的とするものである。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

請求項 1 に記載の発明は、遊技機前面側に開放された筐体と、遊技に関する各種制御を行う制御基板を基板ボックスに収容してなる制御手段とを備えた遊技機において、前記筐体内部の背面部に固定された第 1 部材と、前記制御手段が装着され、かつ前記第 1 部材に対して前記筐体の開放側に向って回動可能に取り付けられた第 2 部材と、前記基板ボックスを開放する場合にその痕跡が残るように封印状態とする封印手段と、遊技機の管理に利用される固有情報等を有し、前記基板ボックスに貼付されるシール片とを備え、前記封印手段は、前記基板ボックスの回動先端側に配設され、前記シール片は、前記基板ボックスの回動先端側に貼付されていることを特徴とする。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

制御手段に対する不正等の確認を容易とし、ひいては当該制御手段を適正に管理することができる。